

## II 調査結果概要

# 第1章 人権問題の認知の状況等

## 1-1 個別の人権問題の認知

問1 あなたは、次の人権問題を知っていますか。

(1～16それぞれについて、知っている・知らないのどちらかに○)

	回答者数	知っている	知らない	無回答	前回調査（H27）
(1) 女性の人権問題	100.0 1553	90.9 1411	8.2 127	1.0 15	77.0 1046
(2) 子どもの人権問題	100.0 1553	94.3 1464	4.8 75	0.9 14	85.3 1158
(3) 高齢者の人権問題	100.0 1553	92.0 1429	7.1 111	0.8 13	80.1 1088
(4) 障がい者の人権問題	100.0 1553	88.2 1369	10.7 166	1.2 18	75.6 1027
(5) 部落差別(同和問題)	100.0 1553	86.6 1345	12.2 189	1.2 19	74.2 1008
(6) 日本に居住している外国人の人権問題	100.0 1553	78.2 1215	20.7 322	1.0 16	53.2 722
(7) HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	100.0 1553	73.3 1138	25.4 395	1.3 20	61.8 839
(8) こころの病(うつ病、依存症など)に関する人権問題	100.0 1553	77.0 1196	21.8 338	1.2 19	55.7 756
(9) 犯罪被害者やその家族の人権問題	100.0 1553	82.7 1284	16.1 250	1.2 19	56.0 760
(10) ホームレスの人権問題	100.0 1553	80.7 1253	18.3 284	1.0 16	51.0 693
(11) 性的マイノリティの人権問題	100.0 1553	75.5 1173	23.2 361	1.2 19	43.3 588
(12) 職業や雇用をめぐる人権問題	100.0 1553	83.5 1296	15.1 235	1.4 22	57.3 778
(13) セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	100.0 1553	90.9 1412	7.9 123	1.2 18	76.2 1035
(14) インターネットにおける人権侵害	100.0 1553	86.8 1348	12.2 189	1.0 16	64.1 870
(15) ヘイトスピーチ	100.0 1553	78.8 1224	19.8 308	1.4 21	58.0 787
(16) 新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	100.0 1553	86.6 1345	12.2 189	1.2 19	-

※前回調査の設問は下記のとおり(比率は○を付けたものの比率)

問3 あなたは、次の人権問題を知っていますか？(知っているものに○)

「知っている」と回答した人の割合は、「(2)子どもの人権問題」が94.3%で最も高く、次いで「(3)高齢者の人権問題」92.0%、「(1)女性の人権問題」及び「(13)セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント」がそれぞれ90.9%となっている。

一方、知らないと回答した割合は、「(7)HIV 陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題」が 25.4%で最も多く、次いで「(11)性的マイノリティの人権問題」23.2%、「(8)こころの病(うつ病、依存症など)に関する人権問題」21.8%となっている。

前回調査は、知っているものすべてに○を求める設問形式であったため、単純比較はできないが、「(11)性的マイノリティの人権問題」が 32.2 ポイント上昇したほか、「(10)ホームレスの人権問題」、「(9)犯罪被害者やその家族の人権問題」、「(12)職業や雇用をめぐる人権問題」、「(6)日本に居住している外国人の人権問題」で 25 ポイント以上上昇するなど、すべての人権問題について認知度が向上している。

### 1-1-1 特に人権上の深刻な問題

問1-1 あなたが、特に人権上の深刻な問題と考えるものは、1～16のうちのどれですか。  
(該当する番号を3つ記入)

回答者数	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	部落差別(同和問題)	日本に居住している外国人の人権問題	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	こころの病(うつ病、依存症など)に関する人権問題	犯罪被害者やその家族の人権問題	ホームレスの人権問題	性的マイノリティの人権問題	職業や雇用をめぐる人権問題	パワハラ・ハラスメント	インターネットにおける人権侵害	ヘイトスピーチ	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	無回答
100.0	25.9	54.5	21.6	17.6	6.4	5.7	2.8	9.2	11.5	2.3	8.4	10.4	19.2	36.7	6.6	36.4	7.2
1553	402	847	335	274	100	89	43	143	179	35	131	161	298	570	103	566	112
前回調査(H27)	100.0	25.1	74.9	47.8	23.5	5.7	2.9	3.5	10.4	11.9	3.3	9.6	20.6	29.1	11.0	-	3.8
	1358	341	1017	649	319	78	39	47	141	161	38	131	280	395	149		51

※前回調査の設問は下記のとおり(比率は○を付けたものの比率)  
問3-1 これらのうち、急いで対応すべきものはどれだと思いますか？(該当するものの番号を3つまで記入)

「子どもの人権問題」と回答した人の割合が 54.5%で最も高く、次いで「インターネットにおける人権侵害」36.7%、「新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題」36.4%となっている。

一方、最も低いのは、「ホームレスの人権問題」で 2.3%、次いで「HIV 陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題」2.8%、ほか「日本に居住している外国人の人権問題」、「部落差別(同和問題)」、「ヘイトスピーチ」、「性的マイノリティの人権問題」、「こころの病(うつ病、依存症など)に関する人権問題」が 10%を下回っている。

前回調査は急いで対応すべきものを聞く設問であったため、単純比較はできないが、「インターネットにおける人権侵害」が 7.6 ポイント、「性的マイノリティの人権問題」が 5.6 ポイント上昇し、一方、「高齢者の人権問題」が 26.2 ポイント、「子どもの人権問題」が 20.4 ポイント低下している。

## 第2章 個別・具体の行為に対する基本的な意識の状況

問2 あなたは、次のような行為について、人権上問題があると思いますか。

((1)~(18)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	問題があると思う			問題はないと思う			わからない	無回答	前回調査(H27)
		問題があると思う	問題があると思う	どちらかと言えば問題があると思う	問題はないと思う	問題はないと思う	どちらかと言えば問題はないと思う			
(1) 職場で顔を合わせるたびに「まだ結婚しないのか」と言う	100.0 1553	84.5 1312	50.5 784	34.0 528	11.2 173	7.7 119	3.5 54	4.1 64	0.3 4	76.0 1033
(2) 中学生の携帯電話やスマートフォンの使用を親の判断で制限する	100.0 1553	13.5 210	2.6 40	10.9 170	80.6 1252	29.0 450	51.6 802	5.3 83	0.5 8	12.1 164
(3) 家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする	100.0 1553	44.4 690	17.5 272	26.9 418	41.6 647	27.8 432	13.8 215	13.5 210	0.4 6	49.5 672
(4) 視覚障がい者との会話ではテレビや映画、風景などは意識して話題にしないようにする	100.0 1553	36.9 573	13.3 207	23.6 366	39.0 605	23.9 371	15.1 234	23.6 367	0.5 8	35.8 487
(5) 結婚する際、興信所や探偵業者などを使って相手の出自を調べる	100.0 1553	56.1 871	27.6 429	28.5 442	34.1 529	21.2 329	12.9 200	9.5 148	0.3 5	57.5 780
(6) 同じマンションに住む外国人とは生活文化が異なるので、付き合わないようにする	100.0 1553	64.0 994	32.8 509	31.2 485	23.4 363	14.8 230	8.6 133	12.2 190	0.4 6	59.9 813
(7) HIV陽性者やハンセン病回復者とは一緒に食事や入浴をしない	100.0 1553	59.3 922	29.7 462	29.6 460	19.3 299	12.3 191	7.0 108	21.0 326	0.4 6	50.4 685
(8) こころの病のある人には関わらないようにする	100.0 1553	66.2 1029	33.0 513	33.2 516	20.5 319	13.5 210	7.0 109	12.7 197	0.5 8	54.9 746
(9) 痴漢の被害者に「あなたにも問題があったのではないか」と言う	100.0 1553	81.2 1261	60.3 937	20.9 324	9.5 148	6.1 95	3.4 53	8.8 137	0.5 7	72.7 987
(10) 公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る	100.0 1553	37.3 580	11.9 185	25.4 395	49.1 763	27.1 421	22.0 342	13.3 206	0.3 4	28.8 392
(11) 職場で性的マイノリティであることを公表している人と席が隣になることを嫌がる	100.0 1553	75.6 1174	52.2 811	23.4 363	13.7 213	8.4 130	5.3 83	10.2 159	0.5 7	59.9 814
(12) 人前で部下を長時間にわたり大声で叱る	100.0 1553	96.2 1493	83.6 1298	12.6 195	1.6 24	1.0 15	0.6 9	1.7 27	0.6 9	94.8 1288
(13) TwitterやFacebookなど、インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む	100.0 1553	95.9 1490	89.2 1386	6.7 104	0.6 10	0.3 5	0.3 5	2.7 42	0.7 11	96.4 1309
(14) 街頭などで、特定の国の出身の人々について、「日本から出て行け」と言う	100.0 1553	93.6 1454	82.1 1275	11.5 179	3.2 50	1.3 20	1.9 30	2.4 38	0.7 11	-
(15) 災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会の役員が住民に緊急時連絡先や疾病、障がいの有無などを尋ねる	100.0 1553	30.1 467	14.6 226	15.5 241	62.1 965	28.8 448	33.3 517	7.3 114	0.5 7	21.0 285
(16) ニートや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う	100.0 1553	64.8 1007	31.8 494	33.0 513	21.7 336	14.7 228	7.0 108	12.8 199	0.7 11	54.8 745
(17) 恋人や配偶者・パートナーの携帯電話やスマートフォンの通信履歴を見る	100.0 1553	83.0 1289	53.4 829	29.6 460	10.7 166	6.9 107	3.8 59	5.7 89	0.6 9	82.7 1124
(18) 新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断る	100.0 1553	93.1 1446	80.6 1252	12.5 194	2.9 45	1.6 25	1.3 20	3.3 51	0.7 11	-

※前回調査の値は「問題があると思う」又は「やや問題があると思う」と回答した人

「問題があると思う」又は「どちらかと言えば問題があると思う」と回答した人の割合(≒問題があると思う)は、「(12)人前で部下を長時間にわたり大声で叱る」が96.2%で最も高く、次いで「(13)TwitterやFacebookなど、インターネットのサイトに他人の誹謗中傷を書き込む」95.9%、「(14)街頭などで、特定の国の出身の人々について

て、「日本から出て行け」と言う」93.6%、「(18)新型コロナウイルス感染症の回復者並びに医療従事者等やその家族であることを理由に、交通機関の利用や保育所の受入れなどを断る」93.1%となっている。

一方、「問題はないと思う」又は「どちらかと言えば問題はないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(2)中学生の携帯電話やスマートフォンの使用を親の判断で制限する」が80.6%で最も多く、次いで「(15)災害時に支援が必要な人のリストを作成するため、自治会の役員が住民に緊急時連絡先や疾病、障がいの有無などを尋ねる」62.1%、「(10)公園でホームレスが近づいてきたので、足早に立ち去る」49.1%、「(3)家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする」41.6%となっている。

前回調査で「問題があると思う」又は「やや問題があると思う」と回答した人の割合(≒問題があると思う)と比べると、「(11)職場で性的マイノリティであることを公表している人と席が隣になることを嫌がる」が15.7ポイント、「(8)こころの病のある人には関わらないようにする」が11.3ポイント、「(16)ニートや引きこもりの人に「怠けていないで働きなさい」と言う」が10.0ポイント上昇し、一方、「(3)家族が不在の際、介護が必要な高齢者を家から出られなくする」が5.1ポイント低下している。

### 第3章 具体的な事象における人権意識の状況

#### 3-1 住宅を選ぶ際に重視する立地条件

問3 あなたが家を買ったり借りたりする際に重視する(した)立地条件は何ですか。(〇はいくつでも)

回答者数	都心部、最寄り駅や幹線道路へのアクセス	公園や緑地などの状況	公共施設や商業、医療施設、	日照・眺望など	周辺の住宅の状況(戸建て/集合、持ち家/賃貸など)	地域のイメージ	校区の教育水準や学力レベルの評判	近隣に低所得者が多いと言われているか	近隣に外国籍住民が多いと言われているか	近隣に同和地区があると言われているか	その他	無回答
100.0	74.9	69.1	62.3	37.6	47.0	15.5	5.3	8.0	11.4	5.3	2.1	
1553	1163	1073	967	584	730	240	82	124	177	82	32	
前回調査(H27)	100.0	75.3	68.1	61.0	40.6	51.8	16.6	6.1	6.7	13.4	6.0	1.6
	1358	1022	925	829	552	704	226	83	91	182	82	22

物理的な立地条件以外では、「地域のイメージ」と回答した人の割合が 47.0%と突出して高く、次いで「校区の教育水準や学力レベルの評判」15.5%、「近隣に同和地区があると言われているか」11.4%となっている。

「その他」の自由記述は、物理的な立地条件以外では、「治安、犯罪などに対する安全性」(8 件)が多かった。前回調査と比べると、「地域のイメージ」が 4.8 ポイント低下している。

### 3-2 人権上問題と思う採用面接時の質問

問3-1 採用面接における質問で、あなたが人権上問題があると思うことはどれですか。

(○はいくつでも)

回答者数	国籍	本籍・出生地	家族の状況	住宅の状況	生活環境、家庭環境	宗教	支持政党	人生観や生活信条	尊敬する人物	労働組合、学生運動などの社会活動の経験	愛読新聞、雑誌、愛読書など	購読新聞、雑誌、	無回答
100.0	41.1	41.5	65.4	45.2	42.3	63.6	56.2	15.5	5.2	36.4	14.5	5.3	
1553	638	644	1016	702	657	988	873	240	81	565	225	82	
前回調査(H27)	100.0	34.8	40.4	60.7	40.9	36.9	55.7	51.4	14.3	7.1	35.8	16.6	7.4
	1358	472	549	824	555	501	757	698	194	97	486	225	100

「家族の状況」と回答した人の割合が 65.4%で最も高く、次いで「宗教」63.6%、「支持政党」56.2%となっている。

一方、最も低いのは「尊敬する人物」で 5.2%、次いで「購読新聞・雑誌、愛読書など」14.5%、「人生観や生活信条」15.5%となっている。

前回調査と比べると、「宗教」が 7.9 ポイント、「国籍」が 6.3 ポイント、「生活環境、家庭環境」が 5.4 ポイント上昇している。

### 3-3 結婚相手・パートナーの決定の際に重視すること

問3-2 あなたが、結婚相手など、パートナーを決めるとしたら、その人について重視することはどんなことだと思いますか。(〇はいくつでも)

回答者数	人柄や性格	趣味や価値観	仕事に対する理解と協力	家事や育児に対する理解と協力	経済力	学歴	職業	家族構成	家柄	離婚歴	本籍・出生地	国籍、民族	障がい者かどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	同和地区の出身であると言われているかどうか	その他	無回答	
100.0	95.5	73.9	61.4	62.3	49.3	9.1	22.2	15.5	8.9	23.2	7.5	16.7	10.8	25.3	3.0	13.3	1.3	0.8	
1553	1483	1148	953	967	766	141	345	241	138	361	116	259	167	393	46	206	20	13	
前回調査(H27)	100.0 1358	93.6 1271	58.8 799	44.3 602	40.7 553	38.9 528	10.8 146	20.0 272	12.9 175	8.9 121	14.6 198	6.5 88	13.0 176	6.7 91	14.1 192	1.3 18	-	1.7 23	2.6 35

「人柄や性格」と回答した人の割合が 95.5%で最も高く、次いで「趣味や価値観」73.9%、「家事や育児に対する理解と協力」62.3%、「仕事に対する理解と協力」61.4%となっている。

一方、最も低いのは「ひとり親家庭かどうか」で 3.0%、次いで「本籍・出生地」7.5%、「家柄」8.9%、「学歴」9.1%となっている。

「その他」の自由記述は、「健康(状態)」(3件)、「家族の人柄や性格」(2件)、等となっている。

前回調査と比べると、「家事や育児に対する理解と協力」が 21.6 ポイント上昇したほか、「仕事に対する理解と協力」、「趣味や価値観」、「相手やその家族の宗教」、「経済力」で 10 ポイント以上上昇している。



## 第4章 人権をめぐる法律の認知及び課題認識の状況

### 4-1 障がいのある人の人権に関する考え

問4 あなたは現在、障がいのある人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。(①～⑨それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	あると思う			ないと思う			わからない	無回答
		あると思う	あると思う	どちらかと言えば	ないと思う	ないと思う	どちらかと言えば		
(1) 道路の段差解消、エレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい配慮が足りないこと	100.0 1553	82.5 1281	45.5 706	37.0 575	11.1 173	8.7 135	2.4 38	5.9 91	0.5 8
(2) 仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと	100.0 1553	81.7 1269	43.5 676	38.2 593	7.7 119	5.9 91	1.8 28	9.9 153	0.8 12
(3) 障がいのない子どもたちと一緒に学ぶ環境整備など、学校の受け入れ体制が十分でないこと	100.0 1553	69.0 1072	34.4 535	34.6 537	14.1 219	10.8 167	3.3 52	16.0 248	0.9 14
(4) 障がいのある人が賃貸住宅などへ入居することが困難であること	100.0 1553	68.2 1060	36.5 567	31.7 493	8.0 123	5.7 88	2.3 35	22.7 353	1.1 17
(5) 病院や福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けたりすること	100.0 1553	72.0 1117	48.4 751	23.6 366	11.8 183	7.7 120	4.1 63	15.3 237	1.0 16
(6) 音声案内や字幕など、情報を分かりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	100.0 1553	69.3 1076	32.1 498	37.2 578	16.8 261	12.7 198	4.1 63	12.9 201	1.0 15
(7) 障がいがあることを理由とした宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること	100.0 1553	63.8 990	38.4 596	25.4 394	18.7 291	13.9 216	4.8 75	16.6 258	0.9 14
(8) 障がいのある人の意見や行動が尊重されないこと	100.0 1553	66.1 1027	35.5 552	30.6 475	16.8 261	12.2 189	4.6 72	16.0 248	1.1 17
(9) スポーツ活動や文化活動への参加に対する配慮がなされていないこと	100.0 1553	56.2 874	25.0 389	31.2 485	22.8 354	17.6 273	5.2 81	19.9 309	1.0 16

「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」と回答した人の割合(≒あると思う)は、「(1)道路の段差解消、エレベーターの設置など、障がいのある人が暮らしやすい配慮が足りないこと」が 82.5%で最も高く、次いで「(2)仕事に就く機会が少なく、また、障がいのある人が働くための職場の環境整備が十分でないこと」81.7%、「(5)病院や福祉施設において劣悪な処遇や虐待を受けたりすること」72.0%となっている。

一方、「ないと思う」又は「どちらかと言えばないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(9)スポーツ活動や文化活動への参加に対する配慮がなされていないこと」が 22.8%で最も多く、次いで「(7)障がいがあることを理由とした宿泊施設や公共交通機関の利用、店舗等への入店を拒否されること」が 18.7%、「(6)音声案内や字幕など、情報を分かりやすい形にして伝える配慮が足りないこと」、「(8)障がいのある人の意見や行動が尊重されないこと」がそれぞれ 16.8%となっている。

## 4-2 日本に居住している外国人の人権問題に関する考え

問5 あなたは現在、日本に居住している外国人に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	あると思う			ないと思う			わからない	無回答
		あると思う	どちらかと言えばあると思う	どちらかと言えぱないと思う	ないと思う	どちらかと言えぱないと思う	ないと思う		
(1) 就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること	100.0 1553	71.8 1114	35.4 549	36.4 565	12.6 196	9.1 142	3.5 54	15.0 233	0.6 10
(2) 賃貸住宅などの申込みや入居において不利な扱いを受けること	100.0 1553	64.1 996	29.3 455	34.8 541	13.6 211	9.2 143	4.4 68	21.4 333	0.8 13
(3) 宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること	100.0 1553	47.5 737	23.5 365	24.0 372	30.9 480	20.2 314	10.7 166	20.7 321	1.0 15
(4) 結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること	100.0 1553	61.8 959	26.5 411	35.3 548	20.7 321	14.5 225	6.2 96	16.7 260	0.8 13
(5) 子どもに対して、自国の文化や生活習慣に合った教育が行われにくいこと	100.0 1553	57.2 887	22.2 344	35.0 543	19.0 294	12.4 192	6.6 102	22.9 355	1.1 17
(6) 文化や生活習慣の違いを理由とする嫌がらせを受けること	100.0 1553	63.6 988	32.7 508	30.9 480	18.3 284	13.0 202	5.3 82	17.1 265	1.0 16
(7) 病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと	100.0 1553	68.4 1062	29.4 456	39.0 606	19.7 306	13.8 214	5.9 92	11.3 175	0.6 10
(8) 特定の人種や民族の人々を排斥する不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)があること	100.0 1553	68.3 1061	40.1 623	28.2 438	13.0 201	9.0 139	4.0 62	17.7 275	1.0 16
(9) 政治に意見が十分反映されないこと	100.0 1553	62.7 974	31.9 496	30.8 478	13.8 214	9.2 143	4.6 71	22.5 349	1.0 16

「あると思う」又は「どちらかと言えぱあると思う」と回答した人の割合(≒あると思う)は、「(1)就職や仕事の内容・待遇などにおいて不利な条件に置かれていること」が71.8%で最も高く、次いで「(7)病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと」68.4%、「(8)特定の人種や民族の人々を排斥(はいせき)する不当な差別的言動(ヘイトスピーチ)があること」68.3%となっている。

一方、「ないと思う」又は「どちらかと言えぱないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(3)宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること」が30.9%で最も多く、次いで「(4)結婚相手やパートナーとの交際で周囲から反対を受けること」が20.7%、「(7)病院や施設などで、外国語の表記などの対応が不十分なこと」が19.7%、「(5)子どもに対して、自国の文化や生活習慣に合った教育が行われにくいこと」が19.0%となっている。

### 4-3 部落差別(同和問題)に関する考え

問6 あなたは現在、部落差別(同和問題)に関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。(1)~(8)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	あると思う			ないと思う			わからない	無回答
		あると思う	どちらかと言えばあると思う	どちらかと言えぱないと思う	ないと思う	どちらかと言えぱないと思う	ないと思う		
(1) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	100.0 1553	45.9 712	25.9 402	20.0 310	32.0 496	18.9 293	13.1 203	20.3 316	1.9 29
(2) 地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること	100.0 1553	43.7 679	24.3 377	19.4 302	33.6 522	19.7 306	13.9 216	20.9 325	1.7 27
(3) 身元調査をされること	100.0 1553	51.5 800	29.2 454	22.3 346	26.3 409	15.3 238	11.0 171	20.2 313	2.0 31
(4) 行政機関や不動産取引業者に「どこが同和地区なのか」と問い合わせること	100.0 1553	49.1 762	24.9 386	24.2 376	26.4 410	15.1 234	11.3 176	22.7 353	1.8 28
(5) インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること	100.0 1553	57.7 895	36.1 560	21.6 335	18.9 294	11.0 171	7.9 123	21.6 335	1.9 29
(6) インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること	100.0 1553	53.9 836	33.4 518	20.5 318	20.0 310	10.8 167	9.2 143	24.3 378	1.9 29
(7) (1)~(6)のほか、差別的言動をされること	100.0 1553	54.5 846	32.8 509	21.7 337	20.8 322	11.3 175	9.5 147	22.8 354	2.0 31
(8) 同和問題を口実とする企業や官公庁等に対する不当な要求(えせ同和行為)が行われること	100.0 1553	51.5 800	31.7 492	19.8 308	16.5 255	9.9 153	6.6 102	30.3 470	1.8 28

「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」と回答した人の割合(≒あると思う)は、「(5)インターネット上に誹謗中傷等が掲載されること」が 57.7%で最も高く、次いで「(7) (1)~(6)のほか、差別的言動をされること」54.5%、「(6)インターネット上に同和地区と呼ばれる地域の所在地リストや動画・写真などが掲載されること」53.9%となっている。

一方、「ないと思う」又は「どちらかと言えぱないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(2)地域の活動や地域での付き合いで嫌がらせを受けること」が 33.6%で最も多く、次いで「(1)就職の時や職場で不利な扱いを受けること」が 32.0%となっている。

#### 4-4 性的マイノリティの人権問題に関する考え

問7 あなたは現在、性的マイノリティに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	あると思う			ないと思う			わからない	無回答
		あると思う	あると思う	どちらかと言えば	ないと思う	ないと思う	どちらかと言えば		
(1) 性的マイノリティへの理解や認識が不足していること	100.0 1553	74.9 1164	38.5 598	36.4 566	10.1 156	7.0 108	3.1 48	13.1 204	1.9 29
(2) 学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けること	100.0 1553	72.7 1128	40.6 630	32.1 498	10.3 160	7.2 112	3.1 48	15.3 238	1.7 27
(3) 就職の時や職場で不利な扱いを受けること	100.0 1553	65.4 1016	33.6 522	31.8 494	14.5 225	10.6 164	3.9 61	18.2 283	1.9 29
(4) 性的マイノリティに対する相談や支援体制が十分でないこと	100.0 1553	67.0 1041	34.1 530	32.9 511	9.5 148	6.6 103	2.9 45	21.4 333	2.0 31
(5) 賃貸住宅などへの入居を拒否されること	100.0 1553	47.3 734	25.6 397	21.7 337	24.0 374	15.6 243	8.4 131	26.8 416	1.9 29
(6) 宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること	100.0 1553	41.4 644	24.1 375	17.3 269	33.1 515	20.3 316	12.8 199	23.4 364	1.9 30
(7) 本人が望んでいないのに、自らの性的指向や性自認を他者に広められること(アウトティング)	100.0 1553	66.5 1032	40.9 635	25.6 397	11.2 174	7.3 114	3.9 60	20.5 318	1.9 29
(8) パートナーがいても、婚姻と同等に扱われないこと	100.0 1553	70.0 1086	40.6 630	29.4 456	10.1 157	6.0 93	4.1 64	18.1 281	1.9 29
(9) じろじろ見られたり、避けられたりする	100.0 1553	68.1 1058	35.7 555	32.4 503	14.5 226	10.0 156	4.5 70	15.5 240	1.9 29

「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」と回答した人の割合(≒あると思う)は、「(1)性的マイノリティへの理解や認識が不足していること」が 74.9%で最も高く、次いで「(2)学校や職場などで嫌がらせやいじめを受けること」72.7%、「(8)パートナーがいても、婚姻と同等に扱われないこと」70.0%となっている。

一方、「ないと思う」又は「どちらかと言えばないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(6)宿泊施設、店舗等への入店や施設の利用を拒否されること」が 33.1%で最も多く、次いで「(5) 賃貸住宅などへの入居を拒否されること」が 24.0%となっている。

#### 4-5 人権をめぐる法律や条例の認知の状況

問8 あなたは、次の法律や条例について知っていますか。

	回答者数	知っている	知っている		知らない	無回答
			内容(趣旨)を知っている	あることは知っている		
(1) 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)	100.0 1553	42.8 665	8.1 126	34.7 539	56.1 872	1.0 16
(2) 本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)	100.0 1553	46.4 721	8.1 126	38.3 595	52.4 813	1.2 19
(3) 部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)	100.0 1553	51.3 796	9.7 150	41.6 646	47.8 743	0.9 14
(4) 大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例(大阪府障がい者差別解消条例)	100.0 1553	30.7 477	4.6 72	26.1 405	68.0 1056	1.3 20
(5) 大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例(大阪府性の多様性理解増進条例)	100.0 1553	19.7 306	3.0 46	16.7 260	79.1 1228	1.2 19
(6) 大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例)	100.0 1553	33.9 527	5.2 81	28.7 446	65.0 1009	1.1 17

「内容(趣旨)を知っている」又は「あることは知っている」と回答した人の割合(≒知っている)は、「(3)部落差別の解消の推進に関する法律(部落差別解消推進法)」が 51.3%で最も高く、次いで「(2)本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律(ヘイトスピーチ解消法)」46.4%、「(1)障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(障害者差別解消法)」42.8%となっている。

一方、「知らない」と回答した人の割合は、「(5)大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例(大阪府性の多様性理解増進条例)」が 79.1%で最も多く、次いで「(4)大阪府障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例(大阪府障がい者差別解消条例)」が 68.0%、「(6)大阪府人種又は民族を理由とする不当な差別的言動の解消の推進に関する条例(大阪府ヘイトスピーチ解消推進条例)」が 65.0%となっている。

#### 4-6 インターネットの人権侵害に関する考え

問9 あなたは現在、インターネットに関して、次に見られるような人権侵害や問題などがあると思いますか。((1)~(10)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	あると思う			ないと思う	どちらかと言えば		わからない	無回答
		あると思う	あると思う	どちらかと言えば		ないと思う	ないと思う		
(1) 他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること	100.0 1553	91.0 1413	76.4 1187	14.6 226	2.7 41	1.2 18	1.5 23	5.3 82	1.1 17
(2) フェイクニュース(真実ではない情報)や誤った情報が拡散されること	100.0 1553	91.8 1425	75.4 1171	16.4 254	2.4 37	1.3 20	1.1 17	4.9 76	1.0 15
(3) SNS(LINEやTwitterなど)による交流が犯罪を誘発する場となっていること	100.0 1553	90.4 1403	70.2 1090	20.2 313	2.7 43	1.5 24	1.2 19	5.9 91	1.0 16
(4) 書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること	100.0 1553	81.2 1261	61.5 955	19.7 306	4.5 69	2.6 40	1.9 29	13.1 204	1.2 19
(5) インターネットが悪質商法の取引の場となっていること	100.0 1553	89.9 1396	70.8 1099	19.1 297	2.8 44	1.7 27	1.1 17	6.4 99	0.9 14
(6) 子どもたちの間で、インターネットを利用した「いじめ問題」が発生していること	100.0 1553	88.5 1374	71.0 1103	17.5 271	2.6 41	1.8 28	0.8 13	8.0 124	0.9 14
(7) 差別を助長するような情報が掲載されること	100.0 1553	86.4 1342	62.6 972	23.8 370	3.8 59	2.4 38	1.4 21	8.6 133	1.2 19
(8) わいせつな画像や残虐な画像などの情報が掲載されること	100.0 1553	88.4 1373	69.7 1082	18.7 291	3.4 53	1.9 30	1.5 23	7.1 111	1.0 16
(9) 捜査対象となっている未成年者の名前・顔写真が掲載されること	100.0 1553	75.2 1167	51.3 796	23.9 371	10.9 170	6.5 101	4.4 69	12.9 201	1.0 15
(10) 問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること	100.0 1553	83.0 1289	65.1 1011	17.9 278	4.1 63	2.7 42	1.4 21	11.9 185	1.0 16

「あると思う」又は「どちらかと言えばあると思う」と回答した人の割合(≒あると思う)は、「(2)フェイクニュース(真実ではない情報)や誤った情報が拡散されること」が 91.8%で最も高く、次いで「(1)他人のプライバシーに関する情報や誹謗中傷する情報が掲載されること」91.0%、「(3)SNS(LINE や Twitter など)による交流が犯罪を誘発する場となっていること」90.4%となっている。

一方、「ないと思う」又は「どちらかと言えばないと思う」と回答した人の割合(≒ないと思う)は、「(9)捜査対象となっている未成年者の名前・顔写真が掲載されること」が 10.9%で最も多く、次いで「(4)書き込んだ人を特定するための手続きに時間を要すること」が 4.5%、「(10)問題のある情報がインターネット上に掲載されると、削除や訂正に時間がかかること」が 4.1%となっている。

## 第5章 人権や差別に関する基本的な認識の状況

問10 人権や差別をめぐるいろいろな考え方がありますが、あなたの考えに最も近いのはどれですか。

((1)~(11)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	そう思う			そう思わない			わからない	無回答	前回調査 (H27)
		そう思う	どちらかと言えば	そう思わない	どちらかと言えば	そう思わない				
(1) 差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない	100.0 1553	92.6 1437	63.2 981	29.4 456	3.6 56	2.1 33	1.5 23	2.4 38	1.4 22	91.8 1246
(2) 差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ	100.0 1553	36.2 562	13.6 211	22.6 351	51.9 806	22.7 352	29.2 454	10.2 159	1.7 26	47.0 638
(3) 差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である	100.0 1553	84.2 1308	44.2 687	40.0 621	9.6 148	6.4 99	3.2 49	4.8 75	1.4 22	78.6 1068
(4) 差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い	100.0 1553	27.5 427	7.1 110	20.4 317	58.3 905	25.7 399	32.6 506	12.6 196	1.6 25	36.8 500
(5) 差別をなくすために、行政は努力する必要がある	100.0 1553	83.7 1300	50.2 779	33.5 521	7.0 109	4.8 75	2.2 34	7.7 119	1.6 25	79.2 1076
(6) どのような手段を講じても、差別を完全になくすことは無理だ	100.0 1553	70.0 1087	31.6 491	38.4 596	17.9 278	8.3 129	9.6 149	10.5 163	1.6 25	71.4 970
(7) 差別を受けてきた人に対しては、行政の支援が必要だ	100.0 1553	66.7 1035	28.6 444	38.1 591	16.3 253	11.3 176	5.0 77	15.5 241	1.5 24	62.3 847
(8) 差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる	100.0 1553	39.1 606	14.2 220	24.9 386	38.7 600	19.8 307	18.9 293	20.5 319	1.8 28	49.7 675
(9) 差別は法律で禁止する必要がある	100.0 1553	55.2 858	24.9 387	30.3 471	21.9 339	12.6 195	9.3 144	21.3 331	1.6 25	-
(10) 差別を受けた人との交流や協働を進めていくことは重要である	100.0 1553	76.4 1187	35.3 548	41.1 639	7.9 122	6.0 93	1.9 29	14.0 217	1.7 27	-
(11) 人権問題とは、差別を受ける人の側の問題であって、自分には関係がない	100.0 1553	7.6 118	2.8 44	4.8 74	80.1 1245	19.1 297	61.0 948	10.6 164	1.7 26	-

※前回調査の値は「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した人

「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した人の割合(≒そう思う)は、「(1)差別は人間として恥ずべき行為であり、私たち一人ひとりが差別しない人にならなければならない」が 92.6%で最も高く、次いで「(3)差別問題に無関心な人にも、差別問題についてきちんと理解してもらうことが必要である」84.2%、「(5)差別をなくすために、行政は努力する必要がある」83.7%となっている。

一方、「そう思わない」又は「どちらかと言えばそう思わない」と回答した人の割合(≒そう思わない)は、「(11)人権問題とは、差別を受ける人の側の問題であって、自分には関係がない」が 80.1%で最も多く、次いで「(4)差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」58.3%、「(2)差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ」51.9%、「(8)差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる」38.7%となっている。

前回調査で「そう思う」又は「ややそう思う」と回答した人の割合(≒そう思う)と比べると、「(2)差別されている人は、まず、自分たちが世の中に受け入れられるよう努力することが必要だ」が 10.8 ポイント、「(8)差別に対して抗議や反対をすることによって、かえって問題が解決しにくくなる」が 10.6 ポイント、「(4)差別の原因には、差別される人の側に問題があることも多い」が 9.3 ポイント低下している。

## 第6章 行政の取組みの認知の状況

問11 あなたは、人権問題の解決に向けた次のような行政の取組みについて、見聞きする(した)ことがありますか。((1)~(9)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	見聞きする	よく見聞きする		見聞きしない	あまり見聞きしない		ほとんど見聞きしない	無回答
			よく見聞きする	たまに見聞きする		あまり見聞きしない	ほとんど見聞きしない		
(1) 街頭での啓発や駅のココースなどでのデジタルサイネージ(電子看板)や啓発ポスターの掲示	100.0	45.8	9.0	36.8	52.3	24.5	27.8	2.0	
	1553	710	139	571	812	381	431	31	
(2) 新聞・テレビ・ラジオによる広報	100.0	58.9	13.1	45.8	39.3	21.5	17.8	1.8	
	1553	915	204	711	610	334	276	28	
(3) 広報誌、啓発冊子、教育教材	100.0	45.6	9.1	36.5	52.6	26.5	26.1	1.7	
	1553	708	141	567	818	412	406	27	
(4) 講演会・研修会	100.0	27.9	5.7	22.2	70.3	27.5	42.8	1.8	
	1553	433	88	345	1092	427	665	28	
(5) ホームページによる情報発信	100.0	23.3	3.7	19.6	74.7	32.1	42.6	2.0	
	1553	362	58	304	1160	498	662	31	
(6) プロ野球の試合とのタイアップなど、スポーツ組織と連携・協力した啓発イベント	100.0	19.0	3.0	16.0	78.9	34.5	44.4	2.1	
	1553	294	46	248	1226	536	690	33	
(7) 作文、詩、読書感想文、ポスター等の募集・表彰	100.0	41.3	9.8	31.5	56.6	25.9	30.7	2.1	
	1553	641	152	489	879	402	477	33	
(8) 人権相談窓口の開設	100.0	45.1	11.7	33.4	53.0	21.4	31.6	1.9	
	1553	700	181	519	823	333	490	30	
(9) 戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度(本人通知制度)	100.0	12.8	3.7	9.1	85.0	25.0	60.0	2.1	
	1553	200	58	142	1321	389	932	32	

「よく見聞きする」又は「たまに見聞きする」と回答した人の割合(≒見聞きする)は、「(2)新聞・テレビ・ラジオによる広報」が 58.9%で最も高く、次いで「(1)街頭での啓発や駅のココースなどでのデジタルサイネージ(電子看板)や啓発ポスターの掲示」45.8%、「(3)広報誌、啓発冊子、教育教材」45.6%、「(8)人権相談窓口の開設」45.1%となっている。

一方、「あまり見聞きしない」又は「ほとんど見聞きしない」と回答した人の割合(≒見聞きしない)は、「(9)戸籍謄本や住民票を第三者に交付した時に事前に登録した本人にお知らせする制度(本人通知制度)」が 85.0%で最も高く、次いで「(6)プロ野球の試合とのタイアップなど、スポーツ組織と連携・協力した啓発イベント」が 78.9%、「(5)ホームページによる情報発信」が 74.7%となっている。



## 第7章 人権学習の状況

### 7-1 個別の人権問題の学習状況

問12 あなたは、学校で、次にあげる人権学習を受けたことがありますか。(○はいくつでも)

	回答者数	受けた					はつきりとおぼえていない	受けたことはない	無回答
		小学校で受けた	中学校で受けた	高校で受けた	専大、短大、専門学校で受けた	大学、短大、専門学校で受けた			
(1) 障がい者の人権問題	100.0 1553	34.1 530	25.0 388	15.3 237	7.8 121	5.2 80	35.7 555	26.0 404	4.1 64
(2) 日本に居住している外国人の人権問題	100.0 1553	22.2 345	9.4 146	11.3 175	6.7 104	3.8 59	35.8 556	38.8 603	3.2 49
(3) 部落差別(同和問題)	100.0 1553	51.3 797	32.9 511	21.5 334	8.5 132	3.9 60	22.0 341	22.3 346	4.4 69
(4) 性的マイノリティの人権問題	100.0 1553	11.8 183	1.2 19	4.1 63	5.2 80	4.3 67	23.8 369	62.3 968	2.1 33
(5) HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	100.0 1553	18.7 291	3.2 50	9.1 141	7.0 108	4.4 69	26.7 414	52.0 808	2.6 40

障がい者の人権問題についての学習経験で、最も高かったのは「はつきりとおぼえていない」で 35.7%、二番目に高かったのは「受けたことはない」で 26.0%、次いで「小学校で受けた」25.0%となっている。

日本に居住している外国人の人権問題についての学習経験で、最も高かったのは「受けたことはない」で 38.8%、二番目に高かったのは「はつきりとおぼえていない」で 35.8%、次いで「中学校で受けた」11.3%となっている。

部落差別(同和問題)についての学習経験で、最も高かったのは「小学校で受けた」で 32.9%、二番目に高かったのは「受けたことはない」で 22.3%、次いで「はつきりとおぼえていない」22.0%となっている。

性的マイノリティの人権問題についての学習経験で、最も高かったのは「受けたことはない」で 62.3%、二番目に高かったのは「はつきりとおぼえていない」で 23.8%、次いで「高校で受けた」5.2%となっている。

HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題についての学習経験で、最も高かったのは「受けたことはない」で 52.0%、二番目に高かったのは「はつきりとおぼえていない」で 26.7%、次いで「中学校で受けた」9.1%となっている。

## 7-2 個別の人権問題に関するイベント等への参加状況

問13 あなたは、最近5年間で、次にあげる人権問題に関するイベント、講演会、研修会、学習会などに参加したことがありますか。((1)~(5)それぞれについて、いずれか1つに○)

	回答者数	参加した	参加した回数			参加し ない	無 回答
			1 回 だけ	2 ~ 4 回 く ら い	5 回 以 上		
(1) 障がい者の人権問題	100.0 1553	11.7 181	5.3 82	4.7 73	1.7 26	87.1 1352	1.3 20
(2) 日本に居住している外国人の人権問題	100.0 1553	6.0 94	2.8 44	2.6 40	0.6 10	92.8 1441	1.2 18
(3) 部落差別(同和問題)	100.0 1553	8.5 132	3.9 60	3.5 55	1.1 17	90.2 1401	1.3 20
(4) 性的マイノリティの人権問題	100.0 1553	7.0 108	3.4 53	3.0 46	0.6 9	91.7 1424	1.4 21
(5) HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	100.0 1553	5.0 76	2.3 35	2.3 35	0.4 6	93.8 1456	1.4 21

「1回だけ参加した」、「2~4回くらい参加した」又は「5回以上参加した」と回答した人の割合(≒参加した)は、「(1)障がい者の人権問題」が 11.7%で最も高く、次いで「(3)部落差別(同和問題)」8.5%、「(4)性的マイノリティの人権問題」7.0%となっている。

## 第8章 人権侵害事象への接触、対応

### 8-1 人権侵害事象への接触の状況

問14 あなたは、最近5年間に人権上問題と思われる言動を受けたり、身近で見聞きしたりしたことがありますか。複数ある場合は、一番印象に残っているものについてお答えください。

(いずれか1つに○)

回答者数	ある	ない	無回答
100.0	33.8	59.6	6.6
1553	525	926	102

  

前回調査(H27)	100.0	43.3	54.6	2.1
1358	588	741	29	

「ある」と回答した人の割合は33.8%と、「ない」59.6%を25.8ポイント下回っている。

前回調査と比べると、「ある」が9.5ポイント低下している。

## 8-1-1 事象の分野、内容

【問14で「1 ある」と回答した人に】

問14-1 それはどのような人権問題に関するものでしたか。(いずれか1つに○)

回答者数	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障がい者の人権問題	部落差別（同和問題）	外国人の人権問題	日本に居住している外国人の人権問題	HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題	この病に関する人権問題	犯罪被害者やその家族の人権問題	ホームレスの人権問題	性的マイノリティの人権問題	職業や雇用をめぐる人権問題	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント	ヘイトスピーチ	新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題	その他	無回答
100.0	10.7	12.4	9.9	9.5	5.0	6.5	0.6	5.5	1.9	1.7	4.4	5.0	29.5	5.1	15.8	2.1	2.1	
525	56	65	52	50	26	34	3	29	10	9	23	26	155	27	83	11	11	
前回調査(H27)	100.0	13.3	16.7	13.8	12.8	11.2	7.5	1.9	7.7	1.2	1.7	3.1	7.8	27.4	8.5	-	1.7	4.1
	588	78	98	81	75	66	44	11	45	7	10	18	46	161	50		10	24

※いずれか1つの回答を求める質問であったが、複数回答があったため、すべて集計対象とした。

「セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント」と回答した人の割合が29.5%で最も高く、次いで「新型コロナウイルス感染症感染者や回復者並びに医療従事者等やその家族の人権問題」15.8%、「子どもの人権問題」12.4%、「女性の人権問題」10.7%となっている。

一方、最も低いのは「HIV陽性者、ハンセン病回復者及びその家族の人権問題」で0.6%、次いで「ホームレスの人権問題」1.7%、「犯罪被害者やその家族の人権問題」1.9%となっている。

「その他」の自由記述は、「近所の住民間」(2件)、「母子家庭」(1件)、等となっている。

前回調査と比べると、「部落差別(同和問題)」が6.2ポイント、「子どもの人権問題」が4.3ポイント低下している。

【問14で「1 ある」と回答した人に】

問14-2 それはどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

回答者数	差別的な扱い	学校、地域における嫌がらせやいじめ	あらゆる言動、誹謗中傷、	育児や介護の放棄・放任	虐待	暴力行為、脅迫、強要	DV	職場におけるハラスメント	プライバシーの侵害	インターネットによる人権侵害	その他	答えたくない	無回答
100.0	21.9	19.0	34.3	9.9	10.5	10.1	8.4	35.2	13.1	10.9	3.8	2.1	1.1
525	115	100	180	52	55	53	44	185	69	57	20	11	6

【参考値】前回調査(H27)

回答者数	悪あからぬ噂、かけ口	名誉き損、侮辱	強要、暴力、脅迫、	な不平等、不利益	いじめ	虐待	嫌がらせ	仲間はずれ	プライバシーの侵害	その他	無回答
100.0	37.6	16.7	9.7	20.2	15.3	10.4	14.6	6.5	6.8	4.8	3.4
588	221	98	57	119	90	61	86	38	40	28	20

「職場におけるハラスメント」と回答した人の割合が 35.2%で最も高く、次いで「差別的な言動、誹謗中傷、あらゆる嫌がらせ」34.3%、「差別的な扱い」21.9%、「学校、地域における嫌がらせやいじめ」19.0%となっている。

「その他」の自由記述は、「行動の制限」(2 件)、「高齢に伴う給料格差」(1 件)、等となっている。

8-1-2 事象の対象(自分か他者か)

【問14で「1 ある」と回答した人に】

問14-3 それはあなた自身に対するものでしたか。(いずれか1つに〇)

回答者数	はい	いいえ	無回答	
100.0	21.7	73.5	4.8	
525	114	386	25	
前回調査(H27)	100.0	11.4	76.4	12.2
588	67	449	72	

「自分自身に対するもの」と回答した人の割合は 21.7%と、「自分自身に対するものでない」73.5%を 51.8 ポイント下回っている。

前回調査と比べると、「はい」が 10.3 ポイント上昇している。

### 8-1-2-1 事象に対しとった行動、解決したかどうか

【問14-3で「1 はい」と回答した人に】

問14-4a どう対応しましたか。(いずれか1つに○)

回答者数	抗議、反論した	相談した	訴えた	我慢した	その他	無回答
100.0	16.7	24.6	0.9	48.2	8.8	0.9
114	19	28	1	55	10	1

【参考値】前回調査(H27)

回答者数	した抗議、反論	相談した	訴えた	我慢した	その他	無回答
100.0	25.4	19.4	7.5	47.8	7.5	1.5
67	17	13	5	32	5	1

※前回調査では、複数回答があったため、すべて集計対象としている。

「我慢した」と回答した人の割合が48.2%と最も高く、次の「相談した」24.6%の約2倍となっている。

「相談した」の「どこに、誰に」の自由記述は、「職場の上司・同僚」(10件)が最も多く、「家族」(5件)、「会社・雇用主」(4件)、「警察」(2件)、「組合」(2件)、等となっている。

「訴えた」の「どこに」の自由記述は、「組合」(1件)となっている。

「その他」の自由記述は、「退職した」(2件)、等となっている。

【問14-3で「1 はい」と回答した人に】

問14-5a 最終的に解決しましたか。(いずれか1つに○)

回答者数	解決した	解決しなかった	その他	無回答
100.0	20.2	61.4	16.7	1.8
114	23	70	19	2

  

前回調査(H27)	100.0	19.4	59.7	14.9	6.0
67	13	40	10	4	

「解決しなかった」と回答した人の割合が61.4%と最も高く、次の「解決した」20.2%の約3倍となっている。

「その他」の自由記述は、「退職した」(4件)、「協議中」(2件)、等となっている。

前回調査と、概ね同様の傾向となっている。

## 8-1-2-2 事象に対しとった行動、必要な対策

【問14-3で「2 いいえ」と回答した人に】

問14-4b どう対応しましたか。(いずれか1つに○)

回答者数	指い 摘け しない こと だと	分い かっ ても らお うと した	相 談 (通 報) した	同 調 した	話 を そ ら し た	何 も し な か っ た	無 回 答
100.0	13.7	15.3	7.3	9.6	6.7	37.6	9.8
386	53	59	28	37	26	145	38

【参考値】前回調査(H27)

回答者数	指い 摘け しない こと だと	分い かっ ても らお うと した	相 談 (通 報) した	同 調 した	話 を そ ら し た	何 も し な か っ た	無 回 答
100.0	17.1	11.6	9.1	7.8	7.1	42.3	6.5
449	77	52	41	35	32	190	29

※前回調査では、複数回答があったため、すべて集計対象としている。

「何もしなかった」と回答した人の割合が 37.6%と、「いけないことだと指摘した」、「いけないことだと分かっ  
てもらおうとした」、「相談した」の合計 36.3%と拮抗している。

一方、「同調した」と回答した人も 9.6%いる。

「相談した」の「どこに、誰に」の自由記述は、「職場の上司」、「家族、友人」、「学校、先生」、「役所」(以上各  
3 件)、「児童相談所」「病院、医師」(以上各 2 件)、等となっている。

【問14-3で「2 いいえ」と回答した人に】

問14-5b そのような問題(事案)は、どのように対応したらよいと考えますか。(〇はいくつでも)

回答者数	行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努めるために、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、	さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、	人権侵害を受けた当事者が救済されるよう人権課題に対応する専門の相談機関・相談窓口を拡充する	人権侵害を受けた当事者自らが解決策を講じる	発達段階に応じた学校における人権教育や、地域や職場における人権研修を充実する	特に何もしなくてよい	その他	無回答
100.0	48.4	44.3	9.3	39.9	4.7	6.7	10.1	
386	187	171	36	154	18	26	39	
前回調査(H27)	100.0	35.4	43.7	22.7	43.0	4.2	8.9	4.5
	449	159	196	102	193	19	40	20

「さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努める」と回答した人の割合が 48.4%で最も高く、次いで「人権侵害を受けた当事者が救済されるよう人権課題に対応する専門の相談機関・相談窓口を拡充する」44.3%、「発達段階に応じた学校における人権教育や、地域や職場における人権研修を充実する」39.9%となっている。

「特に何もしなくてよい」と回答した人の割合は 4.7%に留まる。

「その他」の自由記述は、「学校での教育」、「罰則を設ける」、「差別問題はどうしてもなくなるらない(以上各2件)、等となっている。

前回調査と比べると、「さまざまな人権問題をめぐる誤解や偏見、差別をなくし、一人ひとりの人権意識を高めるために、行政が正しい知識と理解を深める人権啓発に努める(前回調査:行政が啓発に努める)」が 13.0ポイント上昇し、「人権侵害を受けた当事者自らが解決策を講じる(前回調査:当事者自らが解決策を講じる)」が 13.4ポイント低下している。



## 第9章 人権問題や今後の人権教育・啓発についての意見・要望

問 19 人権問題や今後の人権教育・啓発についてご意見・ご要望があれば、自由にお書きください。

回答者総数 1,553 人中 335 人(21.6%)が記入している、内容は、おおむね以下のよう  
に分類できる。

●正しい知識の普及・啓発が必要。子どもや企業、職員への 人権教育に力を入れるべき。.....	89 件
●教育・啓発以外の行政による支援が必要。.....	29 件
●人権問題に関する体験談.....	36 件
●差別がなくなり平等になってほしい。.....	29 件
●アンケートが人権問題を考える機会になった。.....	18 件
●その他アンケート内容に関する意見.....	21 件
●相談窓口を充実させる。.....	13 件
●大きく取り上げるから逆に意識してしまう。何でも「人権」 「差別」と騒がない。.....	4 件
●差別はなくなる。差別をなくすのは難しい。.....	6 件
●優遇や行き過ぎた支援のような逆差別も問題である。.....	12 件
●人権問題についての知識がない、分からない。.....	4 件
●その他.....	80 件
<hr/>	
府政、行政全般に関する意見.....	27 件

※複数にわたる記述もあり、意見等の総数は335件を超える。